

みんなの図書館

発行日 令和7年6月29日(水) (年4回発行)

第77号



発行者 木更津市立図書館
木更津市文京2-6-51
TEL 0438-22-3190
FAX 0438-22-7509

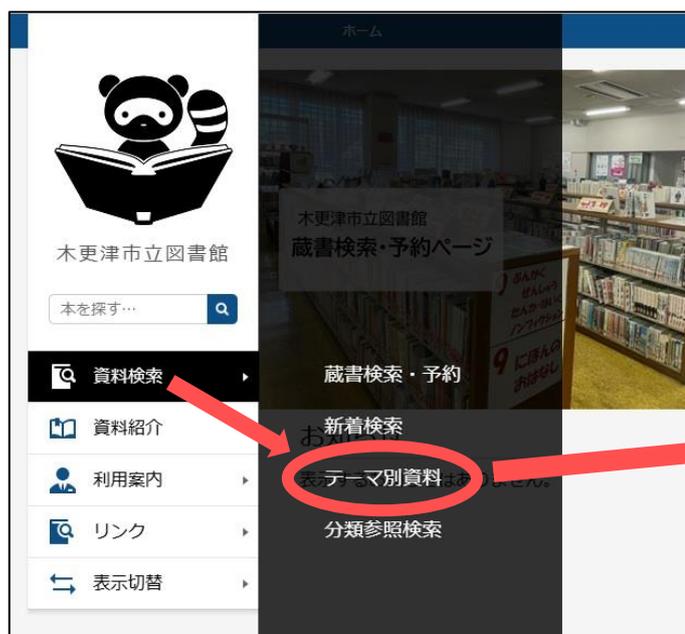
図書館を使いこなそう
NO.41

テーマ別資料検索

木更津市立図書館
テーマ別資料検索はこちらから▲



木更津市立図書館の蔵書検索・予約ページに、「テーマ別資料検索」のコーナーができました。ここでは、図書館に所蔵のある本から図書館員がテーマごとに本を選び、リストを作っています。



現在は、子どもの年齢別におすすめの絵本を取り上げています。リストの一覧からは、通常の資料検索と同じように本の予約に進むこともできますので、ぜひご活用ください。また今後、他のリストも作成を予定しています。

蔵書検索・予約ページでは、今回ご紹介したテーマ別資料のリストのほか、新着資料の検索や、資料の貸出ランキング、予約ランキングなどを見ることができます。

予約時の注意!

蔵書検索・予約ページから本の予約をするとき、本を「予約かごに追加」しただけでは予約したことになりません。

予約かご管理から「予約」に進み、連絡方法を選択、さらに「予約」に進むと予約内容の確認画面が出ますので、確認して問題なければ「送信」を押してください。「送信」まで完了したら予約完了です。

予約ができた本は、利用状況参照の「予約状況」に表示されます。



さまざまな読書のかたち



2019年6月に成立した「読書バリアフリー法」(正式名称:「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」)をご存じでしょうか。この法律は、障害の有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律です。それぞれの人が、利用しやすい形式で本の内容にアクセスできるようにすることを目指し、その環境が整えられるよう求められています。

では、図書館にはどのようなサービスがあるのでしょうか。今回は、当館で利用いただける、さまざまな読書のかたちを紹介します。

一般的な書籍の文字の大きさ 例

あいうえお

あいうえお **あいうえお**

大活字(だいかつじ)本

大きな文字で書かれており、視力の弱い、目の見えにくい方でも読みやすい本です。文字と文字の間隔や、行間の幅を広くとるなどの工夫がされています。

大活字本の文字の大きさ 例



拡大読書器

読みたい本を置くと、拡大して表示がされる機械です。文字の白黒を反転して読むこともできます。



点字図書

縦3点×横2列の6つの点を組み合わせた、点字に翻訳(点訳)された本で、指で触って読みます。図や絵は点で表され、「点図」と呼ばれます。

サピエ図書館

sapie.or.jp



点字図書や録音図書の全国最大の書誌データベースです。全国の図書館などが所蔵する資料の検索、取寄せができます。

音訳(録音)図書



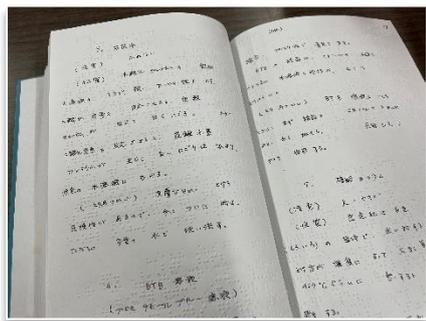
音声テープ・CDや、音声デジタイズ資料があります。音声テープ・CDは、音訳または朗読された音声、カセットテープやディスクに録音された資料のことです。音声デジタイズ資料は音訳の音声に加えて、図や写真の説明も入っているほか、目次やページ情報が収録されており、本をめくるように読むことができます。

マルチメディアデジタイズ資料

再生すると、文字や画像をハイライトしながら、その部分の音声と一緒に読むことができる資料です。読み上げる音声のスピードや文字の大きさ、色などを変えることができます。

対面朗読(対面音訳)

図書館内で、希望する資料を音訳者が読むサービスです。



▲ 墨字の訳が書かれた点字の教科書

先日、図書館で活動するボランティアサークル「点訳の会」さんに、こんな依頼が舞い込みました。それは、小学校で使う「点字」で書かれた教科書に「墨字(すみじ)」を振ってほしい、というもの。

「墨字(すみじ)」とは、紙に書かれたり印刷されたりした文字のことで、「点字」に対して、目で読める文字のことを指します。普段は墨字の本を点字に訳す「点訳」を主に行っていただいておりますが、今回は点字を墨字に訳す「墨字訳(墨訳)」をしていただきました。知識や読解力の必要な墨字訳ですが、短期間のうちに訳されており、その技術の高さが伺えました。

教科を教える先生が、点字の教科書を使用する子どもとスムーズにやりとりができるようにと依頼のあった教科書。読書や学びを支える現場の熱意を感じました。



夏の図書館行事予定

それぞれ詳しくは、今後図書館ホームページや、館内チラシなどでお知らせしますので、そちらをご確認ください。

○ボランティア講座 点字教室 (要事前申込・先着)

点訳ボランティアを行っている「点訳の会」より、点字の基本を学ぶことができます。

7/26(土) 午後1時～午後4時30分 (中学生以上対象)

○夏休み企画 図書館を楽しもうよ！

・こわ～いおはなし会

いつものおはなし会とは一味違う！くら～い中で聞く、ちょっとこわ～いお話をお楽しみに。

7/29(火) ①午後3時～午後3時30分 ②午後3時35分～午後4時5分 (小学生対象)

・1日図書館員体験 (要事前申込・抽選の場合あり)

毎年大人気！図書館職員の仕事を経験してみよう！

①7/30(水) ②8/6(水) 各日 午前10時～午後3時 (小学5・6年生対象)

・夏休みは図書館で過ごそう！

図書館をひとつの居場所として提供します。みんなで楽しめるイベントもあるかも？

小学生 8/6(水)、20(水)、27(水)

中学生 8/8(金)、22(金)

午前の部：午前9時30分～正午 午後の部：午後1時30分～午後4時



吾妻公園文化芸術施設 基本設計が策定されました



木更津市は、「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想」を策定し、「みなとまち木更津の再生」を目指した取組を進めています。吾妻公園では、ホール・図書館・中央公民館を複合した文化芸術施設の整備に向け取り組んでいます。今回、文化芸術施設や公園全体の施設配置を示す基本設計が取りまとめられました。

詳しくは下記 URL や右側のコードから、WEB ページをご確認ください。

<https://www.city.kisarazu.lg.jp/soshiki/kikaku/chiikiseisakushitsu/1/azumapark/9751.html>

吾妻公園文化芸術施設整備事業 ▼



わたしの思い出の1冊 ～記憶の中に深く刻まれている1冊をご紹介します～

『わたしとあそんで』 マリー・ホール・エッツ ぶん・え よだじゅんいち やく ギンE/エ/

図書館員 ヒロ

毎月、図書館では、第1, 3, 5木曜日の10時半から、「赤ちゃんといっしょのおはなし会」をおこなっている。そこでは、0～2歳くらいのお子さん、その保護者と一緒に、わらべうたや絵本を楽しんでいる。おはなし会が始まると、保護者と赤ちゃんの笑い声や泣き声で、おはなしの部屋が、俄然にぎやかになる。生まれてまだ2, 3か月で眩しそうに目を細め、お母さんの腕の中で、いつの間にかスヤスヤ眠ってしまう赤ちゃん。6か月を過ぎ、わらべうたで遊んでいる最中に、くるりと上手に寝返りをうつ赤ちゃん。1歳前になると、ハイハイで隣の赤ちゃんに近づき、興味深そうに顔をのぞき込んだりする赤ちゃんもいる。そして、1歳を過ぎれば、ニコニコしながら、わらべうたに合わせて活発に身体を動かすようにもなる。けれども、中には、私が「一緒にあそぼう！」と笑みを向けただけで、「ヒッ！」と顔をひきつらせて、必死にお母さんの胸にしがみつこうとする赤ちゃんもいる。私がこの絵本を思い出すのは、そんな時である。

アメリカの絵本作家、マリー・ホール・エッツが、1955年に描いたこの作品は、1968年に日本で出版されて以来、長く読み継がれているロングセラーだ。クリーム色を基調とした画面に、木炭で書かれたような線がササッと走り、「わたし」である女の子や、「わたし」が遊ぶ原っぱ、そこにある石や草、池などが描かれている。色彩は最小限で、「わたし」が「遊ぼう！」とつかまえようとするバッタ、カエル、カメ等の動物たちが、茶色や黄色でサラッと色付けされている。我が家の子ども達もこの絵本を大いに楽しんだが、子供向けの絵本にしては、一見とても地味である。けれども、エッツの画力は素晴らしく、「わたし」や動物たちの顔の向きや姿勢で、個々の場面の状況が遠目にもよくわかる。だから、私はこの絵本を、図書館の幼児向けおはなし会でも、時々読んでいます。

あらすじはこうだ。ある日、幼い女の子である「わたし」が原っぱへあそびに行くと、バッタに出会う。「わたし」が、「ばったさん、あそびましょ。」と、つかまえようとする、バッタはぴょんと跳んで行ってしまふ。その後も、カエル、カメ、リス、カケスと、「わたし」は動物に出会う度に一緒にあそびたくて、つかまえようとする。けれども、その度に、みんなそっぽを向いて逃げていってしまう。だれもあそんでくれないので、「わたし」は仕方なく、池のそばの石にこしかけて、じっと静かにしている。すると動物たちが一匹、又一匹と「わたし」のそばにもどってくる。おしまいのページでは、ついに動物たちがみんな「わたし」のすぐそばで、「わたし」の方を向いている。そして、笑顔いっぱい「わたし」のこんなセリフで終わる。「ああ、わたしはいまとってもうれしいの。とびきりうれしいの。なぜって、みんなが みんなが わたしと あそんでくれるんですもの。」

「あそぼう！」と追いかければそっぽを向かれるが、自分の気持ちはひとまず抑えて、じっと待っていれば、相手のほうから「あそぼう！」と近付いてくる。そんな人間の深い心理をこんなにも単純で易しく、おまけに楽しく示してくれている本が、他にあるだろうか・・・

今日もおはなし会で赤ちゃんに向き合い、癒されながら、私は自戒の念をもってこの絵本を思い出す。そう、赤ちゃんの心が動くのを、じっと待つことだよ、と。

編集後記

みんなの図書館77号……ラッキーセブン号ですね！ 7といえば、私は小さい頃図書館で、図書の分類(日本十進分類法)でいうところの7類付近にいるのが好きだったことを覚えています。(N)

梅雨の時期のささやかな楽しみは、梅仕事。カビをはやさないう気を揉みましたが、今年も美味しい梅ジュースができてあがりました。(ヒロ)